

関西医薬品協会 中期事業計画（前期：2017年度～2020年度）に対する業務実績・評価（全体版）

<評価基準>

A:期待している以上のレベル、B:到達目標に達したレベル、C:到達目標に対しやや努力を必要とするレベル、D:到達レベルまで相当な努力が必要なレベル

0. 共通（全体）

戦略	戦術	業務実績(2017年度～2020年度)	着地点・時期	自己評価
関西を基盤とする活動のさらなる強化	協会の名称変更 規約改正	1. 「関西医薬品協会」への名称変更と該当箇所の規約改正(終了時期:2018年度)	名称変更・規約改正 総会承認:2017.9.25 名称変更・規約改正: 2018.1.1	A
		2016.7.26 第1回ビジョン策定プロジェクト会議開催 2017.9.25 第133回臨時総会を開催し、名称変更・規約改正、ビジョン並びに中期事業計画（前期）策定及びビジョン実現タスクフォースの立ち上げをそれぞれ承認 2018.1.1 名称変更実施 2018.1.1 規約改正		
		2. ビジョン、新名称にかかわる広報活動(終了時期:2018年度)	広報活動重点実施: 2018.12まで	B
		3. 新名称披露を兼ねた70周年記念式典開催・記念誌発行(終了時期:2018年度)	記念式典開催:2018.7 記念誌発行:2018.10	A
		2018.2.19 創立70周年・新名称披露記念式典・記念講演会開催 2018.2.20～ 日経新聞、薬事日報、じほう等、一般紙及び業界紙での式典行事関連記事掲載 2018.3.9 薬事日報「関薬協70周年記念」の特集記事他（ドラッグマガジン、医薬ジャーナルへの土屋会長インタビュー記事掲載） 2018.5 創立70周年記念誌発行 2018.11 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会報誌への前川会長巻頭言掲載		

		<p>4. 新型コロナウイルス感染症対策及び今後発生する可能性のある大規模災害等不測の事態に備えるための規約改正等</p> <p>理事会及び評議員会での議決省略等並びに理事会の議決により総会での書面又は電磁的方法による議決権行使を認める規約の改正</p> <p>2020.5.8 全理事からの同意の意思表示及び全監事からの異議なしの意思表示を取得し、理事会で可決（議決省略）</p> <p>2020.5.26 第136回定時総会に規約改正を報告</p> <p>2020.9 PRAISE-NETのアンケートシステムと新たにクラウド動画配信サービスを組み合わせ、受講者のみが利用できる自前のインターネットによる動画配信方法を確立（新型コロナウイルス感染症対策のため、薬事研修会に初めて応用、その後、関東協、東薬工とも同方法での研修会、講演会などで利用）</p>	規約改正：迅速対応	A
中期事業計画の立案・管理	ビジョン実現タスクフォースの設置	<p>1. ビジョン実現タスクフォース設置・体制見直し（終了時期：2018年度）</p> <p>2017.9.25 ビジョン実現タスクフォース設置</p> <p>2018.10.11 理事会でビジョン実現タスクフォースの5つの柱の実現に必要な主なテーマ、担当する会社及び担当者などの選定方針承認</p> <p>2018.12 理事会でビジョン実現タスクフォースの各担当委員承認</p>	<p>ビジョン実現タスクフォース設置：2017.9.25</p> <p>ビジョン実現タスクフォース見直し完了：2018.9まで</p>	B
	ビジョン実現タスクフォースによる中期事業計画の立案・管理	<p>1. ビジョン実現タスクフォースによる中期事業計画全体の立案・管理 事務局・委員会・研究会活動の適切な実施（終了時期：2020年度）</p> <p>2018.2.1 理事会で中期事業計画（前期）を承認</p> <p>2018 中期事業計画（前期）を踏まえた事務局、委員会・研究会の2018年度事業推進計画を策定</p> <p>2019 中期事業計画（前期）を踏まえた事務局、委員会・研究会の2019年度事業推進計画を策定</p> <p>2020 中期事業計画（前期）を踏まえた事務局、委員会・研究会の2020年度事業推進計画を策定</p> <p>2020.7.1 タスクフォース会議にて中期事業計画（前期）業務実績・評価、中期事業計画（後期）策定作業開始</p> <p>2021.2.1 理事会で中期事業計画（後期）を承認</p>	<p>中期事業計画進捗状況 理事会報告・承認：各年度</p>	A
	中長期的な視点で政策立案する機能の設置	<p>2. ビジョン実現タスクフォースによる担当する委員会・研究会がない事業（戦略・戦術）の立案・管理（終了時期：2020年度）</p> <p>2018.10.31 及び2019.1.31 「4. 魅力ある協会」及び「5. 社会からの信頼」ビジョン実現タスクフォース会議開催</p> <p>2018.12.4 「イノベーション」タスクフォース会議開催</p> <p>2019.2.12 「グローバル化」タスクフォース会議開催</p> <p>2019 タスクフォースの担当ごとに今後の事業内容につき討議</p> <p>2020 タスクフォースの担当ごとに中期事業計画（前期）業務実績・評価及び中期事業計画（後期）策定につき討議</p>	<p>担当する委員会・研究会がない事業の立案管理</p>	B

0. 共通(全体)についてのコメント	自己評価
<p>協会として初めてとなるビジョンの策定並びに名称変更とそれにかかわる理事会・総会運営につき遺漏なく推進した。創立 70 周年・新名称披露記念式典・記念講演会については、当初予定の 2018 年 7 月から 2018 年 2 月に前倒して開催。創立 70 周年記念誌については、当初 2018 年 10 月発行予定を 5 月に発行できた。また、ビジョンに基づく中期事業計画(前期)については、2018 年 2 月の理事会で、中期事業計画(後期)については、2021 年 2 月の理事会でそれぞれ承認を得た。ビジョンの策定や名称変更については、関連する当局や自治体、団体等への説明を行うと共に、一般紙及び業界紙への情報提供を積極的に行った。</p> <p>コロナ禍における集合形式の理事会・総会の開催が困難になることが予想されたことから、理事会及び評議員会での議決省略等や理事会の議決により総会での書面又は電磁的方法による議決権行使を認める規約改正を、2020 年 5 月 8 日理事全員の書面又は電磁的記録による同意取得、5 月 26 日開催の第 136 回定時総会での報告により実施した。</p> <p>これらの活動に関し、総合的に期待している以上のレベルに相当すると考え、評価「A」とした。</p>	A

1. 提案力

戦略	戦術	業務実績(2017年度～2020年度)	着地点・時期	自己評価
政策提言とその実現に向けた協会機能の強化	会員会社のニーズ・意見のタイムリーな収集システム整備	<p>1. 協会・委員会・研究会内での会員会社のニーズ・意見のタイムリーな収集システムの整備(終了時期:2020年度)</p> <p>2018 2018年度事業推進計画で会員会社のニーズ・意見を踏まえた運営を記載講演会等でのアンケート実施とその結果を踏まえたテーマ設定・運営改善</p> <p>2019 2019年度事業推進計画で会員会社のニーズ・意見を踏まえた運営を記載講演会等でのアンケート実施とその結果を踏まえたテーマ設定・運営改善</p> <p>2020 2020年度事業推進計画で会員会社のニーズ・意見を踏まえた運営を記載講演会等でのアンケート実施とその結果を踏まえたテーマ設定・運営改善</p>	収集システム整備完了:2020.3	B
	関係委員会・研究会による合同会議・講演会等の実施	<p>1. 横断的な課題対応のため関係委員会・研究会による合同会議、講演会等の実施(終了時期:2020年度)</p> <p>2018.1.31 平成29年度医薬品総括製造販売責任者講座開催</p> <p>2018.9.5 4委員会正副委員長会(薬事、技術、品質、安全性)開催</p> <p>2019.1.31 平成30年度医薬品等総括製造販売責任者講座開催</p> <p>2019.8.28 4委員会正副委員長会(薬事、技術、品質、安全性)開催</p> <p>2020.2.17 令和元年度医薬品等総括製造販売責任者講座開催</p> <p>2020.10.9 4委員会正副委員長会(薬事、技術、品質、安全性)開催</p> <p>2021.2.18～2.24 令和2年度医薬品等総括製造販売責任者講座開催(オンデマンド配信)</p>	合同会議開催:毎年度1回以上 講演会等:適宜実施	B
	収集されたニーズ・意見に基づく提言・実現	<p>1. 収集されたニーズ・意見に基づく当局への提言(※協会と当局との意見交換、特区制度による提案、官民対話、日薬連・東西合同法規・東西知財等を通じた当局との対話、パブリックコメント等を通じて実施)(終了時期:2020年度)</p> <p>2018～2019 薬機法等(薬事規制)改正に係る要望など日薬連を通じて当局に提出 NACSS(電子的輸入手続システム)改善要望を当局に提出</p> <p>2018.6 薬機法の運用案に係る東西合同薬事法規(研究)委員会を通じた要望の提出</p> <p>2018.11 薬機法の運用案に係る東西合同薬事法規(研究)委員会を通じた要望の提出</p> <p>2019.6 薬機法の運用案に係る東西合同薬事法規(研究)委員会を通じた要望の提出</p> <p>2019.12.4 改正薬機法公布</p> <p>2020.9.1 改正薬機法施行(公布から1年以内施行分) 政省令通知事項への日薬連と当局の協議等を通じた意見反映</p> <p>2019.12 NACSS(電子的輸入手続システム)改善要望に対する当局からの回答入手</p> <p>2019.12 薬機法の運用に係る東西合同薬事法規(研究)委員会を通じた要望の提出</p> <p>2020.1 NACSSに関わるアンケート調査実施</p> <p>2020.8 NACSSに関わるアンケート調査に基づき東薬工と連携して当局への要望書を作成し、日薬連を通じて厚労省に提出 8.31付薬生監麻発0831第4号通知にて要望事項につき明記</p>	適宜提言	A

<p>会員会社や地域の成長・発展を目指した規制合理化、産業振興、イノベーション推進等への積極的な提言・実現</p>	<p>中央当局（厚労省・PMDA、経産省、内閣府等）、関西の関連地方自治体・広域連合、経済団体、地域別医薬品団体等との協力・連携関係の構築・強化</p>	<p>1. 中央当局(厚労省・PMDA、経産省、内閣府等)、関西の関連地方自治体・広域連合、経済団体、地域別医薬品団体等との協力・連携関係の構築・強化(終了時期:2020年度)</p> <p>2017 総会、理事会、東西合同薬事法規(研究)委員会などに厚労省及びPMDA幹部を招聘し、講演・意見交換を実施</p> <p>2017.4.1 大阪府との意見交換の場として薬事規制合理化検討会設置</p> <p>2017.4.20 同検討会薬事分科会開催</p> <p>2018.1.26 第1回関西医薬品団体連絡会開催</p> <p>2018 総会、理事会、東西合同薬事法規(研究)委員会などに厚労省及びPMDA幹部を招聘し、講演・意見交換を実施</p> <p>2019.2.4 薬事規制合理化検討会開催(大阪府、薬事・品質・安全性との会合)</p> <p>2019.3.26 第2回関西医薬品団体連絡会開催</p> <p>2019 総会、理事会、東西合同薬事法規(研究)委員会などに厚労省及びPMDA幹部を招聘し、講演・意見交換を実施</p> <p>2020.2.14 第3回関西医薬品団体連絡会開催 関西医薬品団体連絡会構成団体に当協会「会報」を配布開始(2020.1より)</p> <p>2020.2.28 薬事規制合理化検討会開催(大阪府、薬事・品質・安全性との会合)</p> <p>2021.3.2 第4回関西医薬品団体連絡会開催(Web)</p>	<p>中央当局(厚労省・PMDA、経産省、内閣府等)、関西の関連地方自治体・広域連合との意見交換:毎年度1回以上 大商・京商・神商・関経連等との協力・連携関係:更なる強化 関西の医薬品団体連絡会初会合実施:2018.1.26 連絡会開催:毎年度1回以上</p>	<p>A</p>
	<p>構築された協力・連携関係に基づく活動及び提言・実現</p>	<p>1. 構築された協力・連携関係に基づく</p> <p>①情報交換会、講演会・セミナー、見学会、プロジェクトの実施</p> <p>②規制合理化、産業振興、イノベーション推進への提言・実現</p> <p>2019.1.31 平成30年度医薬品等総括製造販売責任者講座を京都、兵庫の医薬品団体へインターネットを利用した同時中継を試験的に実施</p> <p>2020.2.17 令和元年度医薬品等総括製造販売責任者講座を京都、兵庫の医薬品団体へインターネットを利用した同時中継実施</p> <p>2021.2.18~2.24 令和2年度医薬品等総括製造販売責任者講座を関西医薬品団体連絡会メンバー(兵庫、京都、滋賀、奈良、和歌山)にオンデマンド配信</p>	<p>① 適宜実施 ② 適宜提言</p>	<p>B</p>

1. 提案力についてのコメント	自己評価
<p>薬機法等(薬事規制)改正に係る要望など日薬連を通じて当局に提出し、薬機法改正に同要望を反映することが出来た。改正薬機法公布後は、施行のための政省令通知事項へ日薬連と当局の協議等を通じて意見反映に努めた。また、薬機法の運用について東西合同薬事法規(研究)委員会を通じた要望を提出し、当局より改善された回答や適切な指示、今後の予定等の回答を得ることが出来た。</p> <p>横断的な課題解決のため、特に関連性が高い4委員会正副委員長(薬事、技術、品質、安全性)による合同会議を新たに設置し、毎年開催することにした。</p> <p>第6次NACCSへの移行により、使い勝手が悪くなったとの会員からの意見に基づき、日薬連や東薬工など関連団体等と連携し、当局に対し粘り強く改善を求めた結果、2020年8月31日付薬生監麻発0831第4号通知にて要望事項につき明記された。</p> <p>関西の医薬品関連団体との連携強化を目的に、関西医薬品団体連絡会を新設し、年1回開催すると共に関連情報の共有に努めた。</p> <p>これらの活動に関し、総合的に期待している以上のレベルに相当すると考え、評価「A」とした。</p>	<p>A</p>

2. イノベーション

戦略	戦術	業務実績(2017年度～2020年度)	着地点・時期	自己評価
関西の強みを活かしたイノベーションの促進に向けた取り組み	イノベーション推進のための協会内の体制整備	<p>1. 研究開発推進会議と事務局のイノベーション推進機能強化(会議メンバー拡大、事務局の立案・管理能力充実)による体制整備</p> <p>2017. 5. 17 第1回研究開発推進会議開催 2018. 5. 11 第1回研究開発推進会議開催 2018. 12. 4 第2回研究開発推進会議開催 研究開発推進会議の運営見直し(厚労省、経産省、関西広域連合などからの参画) 研究開発推進会議のあり方変更提案承認</p> <p>2019. 9 事務局体制強化のため、研究開発アドバイザーを採用 2019. 11. 19 第1回研究開発推進会議開催 研究開発推進会議の運営見直し(従来のクローズドな会議を会員へ公開) ビジョン実現タスクフォース(イノベーション担当)との連携</p> <p>2020. 11. 13&11. 27 第1回、第2回研究開発推進会議開催 (コロナ感染拡大を防止するとともに多くの自治体・関係団体からの発表してもらうためWebでの2回に分けた開催)</p>	協会内イノベーション推進機能強化完了: 2020.3	B
	関西での産学官の協力・連携関係の構築	<p>1. 関西の関連地方自治体・広域連合、健康・医療創生会議、公的機関・団体(AMED創薬戦略部、PMDA関西支部、医薬基盤・健康・栄養研究所、理化学研究所、産業技術総合研究所、神戸医療産業都市推進機構、千里ライフサイエンス振興財団、都市活力研究所、ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)、経済団体(大商・京商・神商、関経連等)などとの協力・連携関係の構築・強化(終了時期:2020年度)</p> <p>2017 研究開発推進会議などを通じた関西での産学官の協力・連携関係の構築 関経連健康・医療専門委員会、大商ライフサイエンス振興委員会、関西健康・医療創生会議アドバイザーボードへの参画</p> <p>2018 研究開発推進会議などを通じた関西での産学官の協力・連携関係の構築 関経連健康・医療専門委員会、大商ライフサイエンス振興委員会、関西健康・医療創生会議アドバイザーボード、大阪健康・医療関係機関実務責任者会議への参画</p> <p>2018. 8 前川会長の大阪府庁、京都府庁訪問</p> <p>2019. 2. 22 協会ホームページに医薬品等にかかる「関西の強み」コーナー(関西の強みとは、医薬品等にかかる各種拠点紹介、医薬品等にかかる各種イベント紹介)を新設</p> <p>2019. 12. 20 「イノベーションの攻略法」に関わる講演会開催への協力</p>	関西の関連地方自治体・広域連合、公的機関・団体、アカデミアとの意見交換:毎年度1回以上 経済団体(大商・京商・神商・関経連等)との協力・連携関係:更なる強化	B

		<p>2019 研究開発推進会議などを通じた関西での産学官の協力・連携関係の構築 関経連健康・医療専門委員会、大商ライフサイエンス振興委員会、関西健康・医療創生会議アドバイザー ボード、大阪健康・医療関係機関実務責任者会議への参画 医薬基盤・健康・栄養研、大阪大学、北大阪バイオクラスター、神戸医療産業都市、けいはんな学研都市、 京都リサーチパークなどの各種イベントへの参画 研究開発推進会議議事録の「会報（2020年3月号）」への掲載による情報発信</p> <p>2020 研究開発推進会議などを通じた関西での産学官の協力・連携関係の構築 関経連健康・医療専門委員会、大商ライフサイエンス振興委員会、関西健康・医療創生会議アドバイザー ボード、大阪健康・医療関係機関実務責任者会議への参画 医薬基盤・健康・栄養研、大阪大学、北大阪バイオクラスター、神戸医療産業都市、けいはんな学研都市、 京都リサーチパークなどの各種イベントへの参画</p> <p>2020.7.2&10.19 京都府、京都リサーチパーク等が主催するベンチャー企業支援のための Healthcare Venture Conference KYOTO 2020 への後援</p> <p>2020.10 大阪バイオヘッドクォーターにおける目標と取り組み作成に参画（大阪府）</p> <p>2021.3 第1回、第2回研究開発推進会議議事録を「会報（2021年1月号、2月号）」へ掲載すると共に、これら議 事録を「健康長寿社会の実現に向けた関西からのイノベーションへの挑戦」と題した冊子にまとめ、会員向 けホームページへの掲載、関西医薬品団体連絡会メンバーなど関係者への送付等により情報共有</p>		
		<p>1. 産学官連携に関連する公的機関・団体、アカデミア等に関する情報収集・整理・提供、新たな協力・連携関 係の構築・強化（終了時期：2020年度）</p> <p>2017.8.29～30 DSANJ 疾患別商談会開催 2018.1.24 彩都産学官連携フォーラム 2018 開催 2018.2.1～2 DSANJ 疾患別商談会開催 2018.2.13 創業シーズ事業化コンペティション開催 2018.8.30～31 DSANJ Bio Conference（夏期）開催 2019.1.23～24 DSANJ Bio Conference（冬期）開催 2019.1.23 彩都産学官連携フォーラム 2019 開催 2019.2.12 創業シーズ事業化コンペティション開催 2019.3 ホームページに関西の強みコーナー設置 2019.8.27～28 DSANJ Bio Conference（夏期）開催 2020.1.22～23 DSANJ Bio Conference（冬期）開催 2020.1.22 彩都産学官連携フォーラム 2020 開催 2020.9.2～4 DSANJ Bio Conference（夏季）開催 2021.1.27～29 DSANJ Bio Conference（冬期）開催</p>	<p>情報収集・整理完了 :2020.3 関係構築完了:2020.3 関係強化:継続実施</p>	<p>B</p>

		<p>1. 構築された協力・連携関係に基づく活動(終了時期:2020年度)</p> <p>①情報交換会、講演会・セミナー、見学会、プロジェクトの実施 ②産業振興や規制合理化、イノベーション推進への提案・実現</p> <p><PMDA 関西支部テレビ会議システム関連></p> <p>2017.9 PMDA 関西支部テレビ会議システム利用促進へ取組むも目標の年間80件未達</p> <p>2017.11.1 安全対策相談開始</p> <p>2018.3.30 PMDA 関西支部テレビ会議システムに係る4者協議開催</p> <p>2018.9 PMDA 関西支部テレビ会議システム利用促進への取組みにより目標の年間80件以上達成</p> <p>2019.1 利用状況調査実施</p> <p>2019.2.26 PMDA 主催「第1回PMDA関西支部セミナー」開催に協力</p> <p>2019.3.29 PMDA 関西支部テレビ会議システムに係る4者協議開催</p> <p>2019.9 PMDA 関西支部テレビ会議システム利用促進への取組みにより目標の年間80件以上達成</p> <p>2019.4.19 利用状況調査実施</p> <p>2019.5.21 PMDA 関西支部テレビ会議システムに係る4者協議開催</p> <p>2019.7.1 テレビ会議システム対象拡大(初回面談、全般相談等)</p> <p>2019.9.5 PMDA 関西支部テレビ会議システムに係る4者協議開催</p> <p>2020.12.18 PMDA 関西支部テレビ会議システム継続維持に向け大阪府と今後の対応協議</p>	<p>①適宜実施 ②適宜提言</p>	B
<p>新たな健康医療分野での関西からの展開(新たな市場開拓・形成)</p>	<p>新しい創薬アプローチ・再生医療への支援、新たな健康医療分野での関西からの展開</p>	<p>1. 新しい創薬アプローチ等や新領域の開拓への支援に関するアドバイザリーグループ設置(終了時期:2020年度)</p> <p>2. アドバイザリーグループの意見を参考にした活動(終了時期:2020年度)</p> <p>アドバイザリーグループは未設置。代替としてビジョン実現タスクフォース・イノベーション担当責任者や研究開発推進会議議長などへの相談や、研究開発アドバイザー採用による事務局体制の充実により、以下の活動を実施。</p> <p>2017.10.10 AI創薬の現状と可能性に関する講演会</p> <p>2018 新たな創薬領域に対する講演会の充実(AI関連3回、ゲノム関連、核酸関連の講演会) 研究開発推進会議の中でのAI、iPS細胞関連の講演</p> <p>2019 ビジョン実現タスクフォース(イノベーション担当)との連携</p> <p>2019.9 事務局体制強化のため、研究開発アドバイザーを採用</p> <p>2019.9.13&12.18 関西健康・医療創生会議、LINK-Jと連携し、「デジタルヘルスセミナー」をシリーズで企画・実施開始 第1回、第2回デジタルヘルスセミナーを大阪・東京をネットで繋ぎ同時開催</p> <p>2020.9.28 第3回デジタルヘルスセミナー開催(Webのみ)</p> <p>2020.12.7 グローバルバイオコミュニティの関西への誘致に向け、近畿バイオ振興会議との初会合開催</p> <p>2020.12.10 第4回デジタルヘルスセミナー開催(Webのみ)、大商も主催者として参画</p> <p>2021.3.15 第5回デジタルヘルスセミナー開催(集合形式+Web)</p>	<p>アドバイザリーグループ設置完了:2020.3 新たな創薬アプローチ等や新領域の開拓への支援</p>	B

2. イノベーションについてのコメント	自己評価
<p>関西の強みを活かしたイノベーションの促進に向けた取り組みとして、研究開発推進会議の充実を目指し、自治体・協会・団体の参加数を増やすと共に委員のみならずオブザーバー参加を可能にする等、新たな試みを行った。また、DSAN-Jへの協力・支援も継続した。</p> <p>関経連健康・医療専門委員会、大商ライフサイエンス振興委員会、関西健康・医療創生会議アドバイザーボード、大阪健康・医療関係機関実務責任者会議への参画を通じて、関西地域のイノベーション推進に関する情報共有・連携・協力を行った。また、LINK-Jと後述するデジタルヘルスセミナーの開催など、大阪道修町・東京日本橋連携プロジェクトなどでの連携・協力を進めた。AI、ゲノム医療、核酸等の新たな創薬領域に関わる講演会を積極的に開催すると共に、近年、製薬企業でも関心が高まっているデジタルヘルスに関わるセミナーをLINK-Jや大商、関西健康・医療創生会議と連携してシリーズでの開催を開始した。</p> <p>新たな健康医療分野での関西からの展開を目指し、アドバイザーグループは未設置だが、その代替としてビジョン実現タスクフォース・イノベーション担当責任者や研究開発推進会議座長などへの相談や、研究開発アドバイザー採用による事務局体制の充実により、様々な活動を行った。</p> <p>会員へのアンケート調査や利用促進、PMDAとの面談等を通じ、大阪府や関経連、大商と連携し、PMDA関西支部テレビ会議システムの継続的な実施を図った。その結果、2018年・2019年には目標の年間80件を達成した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2020年は目標達成には至っていない。</p> <p>関業協ホームページに「関西の強みコーナー」を設置し、関西に拠点を置く関連自治体・協会・団体等の紹介や関連する各種イベント情報を積極的に紹介・発信した。</p> <p>関西の強みを活かすまでには至っていないため、評価「B」とした。</p>	B

3. グローバル化

戦略	戦術	業務実績(2017年度～2020年度)	着地点・時期	自己評価
海外の医薬品関連分野への事業展開の支援	関係国の当局・団体、大使館・在大阪総領事館等、厚労省・PMDA、地方自治体等の関係部署、JETRO、大商・京商・神商・関経連、日薬連国際委員会等との連携強化	<p>1. 関係国の当局・団体、大使館・在大阪総領事館等や、厚労省・PMDA、地方自治体等の関係部署、JETRO、大商・京商・神商・関経連、日薬連・製薬協・OTC 薬協の国際委員会等との連携強化 (※国際展開を目指した会議や交流会の実施)(終了時期:2020 年度)</p> <p>2017 インド、台湾、中国、カナダとの交流会等を開催、英国、欧州、フィンランド、韓国との交流会に協力 2017.10.27 厚生労働省等主催「薬事規制当局サミットシンポジウム開催」(京都)に協力 2018 インド、台湾との交流会等を開催 英国、欧州、中国、オランダ、メキシコとの交流会に協力 2018.8.27～28「第3回日本-インド医療製品規制シンポジウム(インド)」に協力(関薬協から1名参加) 2019 駐大阪・神戸米国総領事館、北カリフォルニアジャパンサイエティ(米)との連携開始 2019.3.19「第2回 CPHI 日中医薬品交流会」を日薬連等6団体と共催 2019 韓国、カナダ、英スコットランド、インドの講演会・シンポジウム開催に協力 2019.9.3 タイ大国政府関係者、タイ投資委員会大阪事務所との意見交換会実施 2019.10.7 大阪府主催の「欧州のライフサイエンス企業との商談会 in 大阪 2019」に共催・支援 2019.10.24 駐大阪・神戸米国総領事館との連携の一環として米国総領事との座談会開催(7社参加) 2020 タイ、中国、台湾、シンガポール、韓国、フィリピン、カナダのセミナーを開催、協力支援 2020.2.5.「第4回日本-インド医療製品規制シンポジウム(東京)」に協力 2020.9.28～30 大阪府主催の「欧州ライフサイエンス企業とのオンライン商談会」に共催・支援 2020.11.5 「韓国薬事行政動向等説明会」に共催・支援 2020.12.1 第10回 カナダ・ライフサイエンス オンラインセミナーの開催を支援</p>	関係国の大使館・総領事館等、国内外規制当局、JETRO、関連団体と連携強化	A
医薬品関連のバリュー・チェーンを通じた海外との連携強化		<p>1. 医薬品関連のバリュー・チェーンを通じた海外との連携強化(終了時期:2020 年度)</p> <p>① アジア諸国等に重点においた医薬品関連のバリュー・チェーンに関するセミナー・講演会、ビジネス交流会、現地訪問等の実施</p> <p>2017.7.10 「中国医薬品市場最新事情<2017>」に関する講習会」開催 2017.9.14 「マレーシアの製薬産業とビジネス環境に関する講演会」開催 2017.10.20 上海医薬品部会総会へ参加 2017.11.9 「インド医薬品事情に関する講演会」を開催 2018.4.11 「フィリピンの製薬産業とビジネス環境に関する講演会」開催 2018.4.13 上海医薬品部会総会(電話会議で参加) 2018.4.16 「第8回インド・日本製薬セミナー in 大阪」開催 2018.5.21 インド関係各所訪問(在インド日本大使館、KEYSTONE工業団地見学等) 2018.8.27～28「第3回日本-インド医療製品規制シンポジウム(インド)」に協力(関薬協から1名参加) 2018.9.10 「中国医薬品市場最新事情<2018>」に関する講演会」開催 2018.10.11 「上海医薬品部会総会(上海)」(関薬協から1名参加) 2018.11.2 「タイの製薬産業とビジネス環境に関する講演会」開催</p>	会員会社の関心国との医薬品関連の事業展開	A

		<p>2019. 2. 28 「第 2 回ベトナムの製薬産業とビジネス環境に関する講演会」開催 2019. 3. 6 「インド製薬産業に関する講演会」開催 2019. 5. 23 「第 2 回インドネシアの製薬産業とビジネス環境に関する講演会」開催 2019. 6. 24 「中国の製薬産業の現状と新薬申請の動向に関する講演会」開催 2019. 9. 18 「中国医薬品市場最新事情<2019>に関する講演会」開催 2019. 10. 16 「ミャンマーの製薬産業とビジネス環境に関する講演会」開催 2019. 11. 21 「モンゴルにおける医薬品販売等の現状に関する勉強会」を開催 2020. 9. 23~25 「中国医薬品市場最新事情<2020>に関する講演会」開催（オンライン録画配信） 2020. 10. 20 「第 2 回シンガポールの製薬産業とビジネス環境に関する講演会」開催</p> <p>② 欧米の医薬品関連の研究開発、規制動向の把握、関連するセミナー・講演会等の実施</p> <p>2018. 5. 11 「米国からみた激変する医療・医薬品の近未来に関する講演会」開催 2018. 11. 29 「英国の Brexit の最新状況に関する講演会」開催</p> <p>③ その他</p> <p>2020. 1. 28 「KIX（関西国際空港）医薬品セミナー」に協力</p>		
	<p>海外バイオクラスター・ベンチャー等との交流</p>	<p>1. 海外バイオクラスター・ベンチャー等とのビジネス交流会、講演会等の実施（終了時期：2020 年度）</p> <p>2017. 4. 17 「第 7 回インド・日本製薬セミナー/ビジネスマッチング」を開催 2017. 7. 3 「第 3 回台湾-日本製薬セミナー/ビジネス in 台北」を大阪府、日薬連、OTC薬協と共催 2017. 11. 28 「第 9 回日中製薬交流会」を開催 2018. 6. 25 「第 4 回台湾-日本製薬セミナー/ビジネスマッチング in 大阪」を大阪府、日薬連、OTC薬協と共催 2018. 11. 26 天津西青経済技術開発区主催の「中国における薬事制度改革の概要に関する講演会」に協力 2019. 6. 25 「中国非処方薬協会との交流会」開催 2019. 7. 2 「中国・陝西省訪日団との交流会」開催 2019. 7. 22~24 「第 5 回台湾-日本製薬セミナー/ビジネスマッチング in 台北」開催 2019. 11. 7 「中国健康未来企業家協会との意見交換会」開催 2019. 12. 12 「上海張江訪問団との交流会」開催 2020. 11. 24~12. 1 「第 6 回台湾-日本製薬セミナー/ビジネスマッチング」（オンライン録画配信）開催 2021. 3. 17 日欧産業協力センター主催の「日欧地域連携グッドプラクティスセミナー（日欧地域連携ヘルプデスク事業）」に当協会もパネリストとして参加</p>	<p>会員会社の関心国との医薬品関連の事業展開</p>	<p>A</p>

	<p>会員会社の関心国の健康医療ニーズや規制当局及び制度等についての情報共有の推進</p>	<p>1. 会員会社の関心国(アジア諸国等を中心)の健康医療ニーズ、規制当局・制度、ビジネス・投資環境等の情報共有システム整備(終了時期:2019年度)</p> <p>2018 会員会社の関心国についてアンケート調査実施 2019 会員会社の関心国についてアンケート調査実施(継続実施)</p> <p>2. 情報共有システムの維持管理(終了時期:2020年度)</p> <p>2020 会員会社の関心国についてアンケート調査実施(継続実施) 日薬連国際委員会からの情報を中心に事務局で収集した情報を国際ビジネス委員会委員に共有 日薬連国際委員会「アジア医薬品・医療機器規制調和グランドデザイン策定」タスクフォースに参画</p>	<p>情報共有システム整備完了:2020.3</p>	<p>B</p>
<p>グローバル人材の育成・確保</p>	<p>グローバル人材の育成・確保等に関する支援</p>	<p>1. 人材育成・確保等に関するニーズ把握・必要な支援方策の検討(終了時期:2020年度)</p> <p>2018.6.13 製薬企業のグローバル人材育成・確保に関するアンケート実施 2019.5.31 「製薬企業の国際化経営戦略に関する講演会」開催 2019.7.10 「グローバル人材育成セミナー」開催(ビジネスコンサタント社)</p> <p>2. 国内外のアカデミアや関連団体等と連携し、人材育成・確保等に関する情報や機会の提供</p>	<p>ニーズ把握・必要な支援方策の検討完了:2020.3 人材育成・確保等に関する情報や機会提供</p>	<p>B</p>
<p>海外への情報発信</p>	<p>英語版ホームページの作製</p>	<p>1. 英語版ホームページ作成(協会基本情報掲載)(終了時期:2019年度)</p> <p>2019.3 英語版ホームページ充実(協会基本情報掲載) 2019.3 ロゼッタ社のAI自動翻訳システム「T-400」を試験的に導入 2019.9.27 英語版ホームページ更新・充実</p> <p>2. 英語版ホームページの維持管理(2020年度)</p> <p>2021.1 英語版ホームページ更新・充実</p>	<p>英語版ホームページ協会基本情報掲載完了:2019.9 毎年最新版に更新2021.3</p>	<p>B</p>

3. グローバル化についてのコメント	自己評価
<p>アンケート調査により、会員の関心の高い国や必要な情報の取得に努めた。これらのアンケート調査に基づき、アジアを中心として多くのセミナー・講演会の企画・実施を行うと共に、関連する自治体・協会・団体が開催するセミナー等の協力・支援を行った。また、欧州においては、会員の関心の高いBrexitの最新情報に関わる講演会の開催、米国総領事館等の新たなネットワークづくりを目指した活動も積極的に行った。主なイベント開催回数は、以下のとおり。2017年度:関薬協主催12回、協力・後援9回; 2018年度:関薬協主催12回、協力・後援10回; 2019年度:関薬協主催13回、協力・後援7回; 2020年度:関薬協主催3回、協力・後援3回。</p> <p>英語版ホームページの内容を充実させ、海外への積極的な情報発信も開始した。</p> <p>日薬連の下、関連団体と連携し、アジア医薬品・医療機器規制調和グランドデザインへの協力・支援も開始した。</p> <p>新たな試みとして、コンサルタントと連携し、グローバル人材育成セミナーも開催した。</p> <p>これらの活動に関し、総合的に期待している以上のレベルに相当すると考え、評価「A」とした。</p>	<p>A</p>

4. 魅力ある協会

戦略	戦術	業務実績(2017年度～2020年度)	着地点・時期	自己評価
会員会社の多様なニーズや様々な課題に 応えるための機能強化	会員会社の多様なニーズや様々な課題を把握する機能の充実	1. 協会・委員会・研究会内での会員会社の多様なニーズや様々な課題を把握する機能の充実(終了時期:2020年度) 2018 2018年度事業計画で会員会社のニーズ・意見を踏まえた運営を記載 講演会等でのアンケート実施とその結果を踏まえたテーマ設定・運営改善 2019 2019年度事業計画で会員会社のニーズ・意見を踏まえた運営を記載 講演会等でのアンケート実施とその結果を踏まえたテーマ設定・運営改善 2020 2020年度事業計画で会員会社のニーズ・意見を踏まえた運営を記載 2020 講演会等でのアンケート実施とその結果を踏まえたテーマ設定・運営改善	多様なニーズや様々な課題をタイムリーに把握する機能構築完了: 2020.3	B
会員会社へのサービスの充実	医薬品医療機器等法などへの的確な対応	1. 医薬品医療機器等法などへの的確な対応(講習会等の企画・運営、関連省令・告示・通知の迅速な情報提供)(終了時期:2020年度) 2017 薬機法改正等会員会社の関心の高い事項をテーマに講演会等開催 薬事研修会及びMR教育担当者講座をシリーズで開催 2018.1.31 平成29年度医薬品総括製造販売責任者講座開催 2018 薬機法改正等会員会社の関心の高い事項をテーマに講演会等開催 2018 薬事研修会及びMR教育担当者講座をシリーズで開催 2019.1.31 平成30年度医薬品等総括製造販売責任者講座開催 2019 薬機法改正等会員会社の関心の高い事項をテーマに講演会等開催 2019 薬事研修会及びMR教育担当者講座をシリーズで開催 2020.2.17 令和元年度医薬品等総括製造販売責任者講座開催 2020 薬機法改正等会員会社の関心の高い事項をテーマに講演会等開催 2020 薬事研修会及びMR教育担当者講座をシリーズで開催 2021.2.18～2.24 令和2年度医薬品等総括製造販売責任者講座開催(オンデマンド配信)	医薬品医療機器等法等への的確な対応	B
	委員会・研究会活動や講習会・研修会等の見直し・充実	1. 協会・委員会・研究会活動や講習会・研修会等の見直し・充実(※共通業務課題・目標等のノウハウの共有という観点にも配慮)(終了時期:2020年度) 2017.6 「薬事初任者研修会」を「薬事研修会」に名称変更し、受講対象を拡大 また、スポット受講料を引下げ、広報活動の充実により受講者数かなり増加 2018 講習会・研修会後にアンケートを実施し、次回以降のテーマ選定、運営改善に反映 2018 薬事研修会の履修テーマに「ジェネリック医薬品」を追加 2019 講習会・研修会後にアンケートを実施し、次回以降のテーマ選定、運営改善に反映 2019 薬事研修会の履修テーマに「バイオシミラー」を追加	薬事初任者研修会見直し完了: :2017.6 協会・委員会・研究会活動等の見直し・充実:各年度	A

		<p>2020.9 薬事研修会全 15 講を初めてオンデマンドで配信 また、年間及びスポット受講料を引下げ、これにより、受講者数が飛躍的に増加 履修テーマに「製剤学入門」追加</p>		
新たな活動の企画・立案	<p>1. ビジョン実現タスクフォースによる新たな活動の企画・立案(終了時期:2020 年度)</p> <p>2018.12.3 ビジョン実現タスクフォースの各担当委員承認 2019.1.21 新担当委員によるキックオフミーティング開催 2019 会務審議会終了後にビジョン実現タスクフォース会議を実施し、新たな活動につき討議 2020.10 協会の各種届出の届出者・押印の省略等、関業協事務手続きの簡素化を 9/28 会務審議会の了承を得て実施 2020.11 売上高報告書につき、問題・課題の解決を目指し、記載内容を変更・改善し、9/28 会務審議会の了承を得て実施</p>	注力すべき領域 (イノベーション、 新領域開拓、コンプ ライアンス)	B	
行政通知等の情報提供 等を行うPRAISE-NETの 利便性向上と機能強化	<p>1. 第4期PRAISE-NETの検討・構築(終了時期:2018 年度)</p> <p>2017.4.19 新WEB 検討会で基本議定書、開発スケジュール、ベンダーを検討 2018 PRAISE-NET 第4期に向けた改善・開発開始</p> <p>2. 第4期PRAISE-NETの安定稼働(終了時期:2020 年度)</p> <p>2019.4.1 第4期 PRAISE-NET 運用開始(医薬品行政通知データベースにわかりやすい検索画面を提供、セキュリティ 及び利便性の向上のため委員会情報システムを委員会単位から委員個人単位のアクセス方式に変更) 2019 PRAISE-NET 第4期の安定稼働、ユーザー数の拡大、利用方法の周知への取り組み (動画による医薬品行政通知データベース検索方法説明の掲載、第4期 PRAISE-NET 及び関連情報に関する 説明会等の実施)</p> <p>2020.2.17 令和元年度医薬品等総括製造販売責任者講座での PRAISE-NET 使用法の説明 2020 PRAISE-NET 第4期の安定稼働を目指し、会員からの問い合わせに対応 2020.9 PRAISE-NET のアンケートシステムと新たにクラウド動画配信サービスを組み合わせ、受講者のみが利用できる 自前のインターネットによる動画配信方法を確立(新型コロナウイルス感染症対策のため、薬事研修会に初め て応用、その後、関業協、東薬工とも同方法での研修会、講演会などで利用) 2020.12.8 日薬連 WEB 管理センター運営会議に WEB セミナーに関する機能追加(視聴用メールの発行機能、一般利用者 向けの ID 管理機能、オンラインバンキングデータとの連携機能等)を提案 2021.218~2.24 令和2年度医薬品等総括製造販売責任者講座でのオンデマンド配信による PRAISE-NET 使用法の説明</p>	第4期PRAISE-NET 稼働:2019.4 PRAISE-NET の 利 便性向上と機能 強化に向けた継続 検討	A	
ほしい人にほしい情報を 適切に伝達できる ネットワーク構築	<p>1. ほしい人にほしい情報を適切に伝達できるネットワークの構築(終了時期:2019 年度)</p> <p>2017 過去の講演会等参加者(約 500 名)に関連講演会等開催情報を送信 2018 過去の講演会等参加者(約 1000 名)に関連講演会等開催情報を送信 2018 関業協のお知らせメルマガ(受信約 1 万人)に関西の各種団体のイベント情報を新設</p>	研究開発、国際 ビジネスのネット ワーク構築完了: 2020.3	B	

		<p>2019 関薬協のお知らせメルマガ（受信約1万人）につき、通知関係とイベント情報を分けて送信し、内容が分かりやすいように工夫</p> <p>2020.5 新型コロナウイルスに関連し、在インド日本国大使館から日薬連を通じ医薬品貨物便の需要の有無に係る問合せ受領 関薬協実施のアンケート調査結果等に基づき、5、6、7月に臨時貨物便確保 会員、東薬工、関西医薬品団体連絡会メンバーへ通知し、医薬品安定供給に寄与</p>		
	ホームページのコンテンツ等の見直し・充実	<p>1. 会員ニーズを踏まえたホームページのコンテンツ等の見直し・充実（終了時期：2020年度）</p> <p>2018.10 協会活動の説明を充実</p> <p>2019.2.22 医薬品等にかかる「関西の強み」コーナーの新設：関西の強みとは、医薬品等にかかる各種拠点紹介、医薬品等にかかる各種イベント紹介</p> <p>2020.2.1 ホームページの会員向け情報を充実</p> <p>2020.4.1 ホームページに「新型コロナウイルス感染症関連通知等リスト」「関連情報リンク」「相談・提案窓口」から構成される「新型コロナウイルス感染症コーナー」を開設</p>	会員ニーズを踏まえたコンテンツ等の見直し・充実：各年度	B
	大阪薬業クラブの適切な業務運営への協力	<p>1. 大阪薬業クラブの適切な業務運営への協力（終了時期：2020年度）</p> <p>2018.4 クラブ喫茶サービス業務の変更に伴う会議室改装等への協力</p> <p>2019 大阪薬業クラブの適切な業務運営に引き続き協力</p> <p>2020 大阪薬業クラブの適切な業務運営に引き続き協力</p>	適切な業務運営	B
協会活動の基盤強化	協会への加入促進、委員会・研究会への参加促進	<p>1. 協会への加入促進、委員会・研究会への参加促進（終了時期：2020年度）</p> <p>2018.9 ホームページに「入会のご案内」のページを新設</p> <p>2020.6 会員の入会促進を図るため、ホームページに各委員会・研究会への入会メリットを掲載</p>	情報不足での非加入、委員会・研究会の不参加とならないような活動の実施	B

4. 魅力ある協会についてのコメント	自己評価
<p>会員からの要望を反映させた第4期 PRAISE-NET を開発し、会員の利便性向上を図った。第4期 PRAISE-NET は、順調に稼働している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策でニーズが高まっているインターネットによる動画配信については、アンケートシステムと新たなクラウド動画配信サービスを組み合わせ、受講者のみが利用できる自前の方法を確立し、後述の薬事研修会に初めて応用した。その後、関薬協、東薬工ともに同方法による研修会、講演会等が実施されており、会員の利便性向上に貢献している。</p> <p>「薬事初任者研修会」を「薬事研修会」に名称変更し、受講対象を拡大すると共に、ジェネリック医薬品やバイオシミラー、製剤学入門など、新たなテーマを取り入れ、内容の充実も図った。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、インターネットによる動画配信事前録画によるオンデマンド配信とし、参加費用を減額することで、参加人数の増加を図った。</p> <p>関薬協ホームページに医薬品等にかかる「関西の強み」コーナー（関西の強みとは、医薬品等にかかる各種拠点紹介、医薬品等にかかる各種イベント紹介）や「新型コロナウイルス感染症コーナー」（新型コロナウイルス感染症関連通知等リスト、関連情報リンク、相談・提案窓口）などを新たに開設し、会員への情報提供の充実を図った。また、関薬協ホームページの入会案内の内容充実による協会会員数の増加、各委員会・研究会への入会メリットの掲載による委員会・研究会への加入促進を図った。その結果、会員数はビジョン策定直前2016年3月：298社が、中期事業計画（前期）終了時の2021年3月には314社と16社増加した。会員のニーズの把握やその対応が期待している以上のレベルに至っていないと考え、評価「B」とした。</p>	B

5. 社会からの信頼

戦略	戦術	業務実績(2017年度～2020年度)	着地点・時期	自己評価
広報活動の強化	協会活動の定期的かつタイムリーな公開 国民の健康ニーズに合った情報提供や啓発活動の実施	1. 様々な情報媒体を通じ、協会の活動内容や国民の健康ニーズに合った情報発信(終了時期:2020年度) 2017 「明治150年」関連施策への支援(厚労省からの要請に対応) 2018.10 ホームページの協会活動のページを見直し、事業概要等コンテンツを充実 2018.10～12 PMDAが実施する健康被害救済制度の集中広報への協力(ホームページでのバナー掲載) 2019.6 ホームページの協会活動のページの更新(事業推進計画など) 2019.10～12 PMDAが実施する健康被害救済制度の集中広報への協力(ホームページでのバナー掲載) 2020.4.1 ホームページに「新型コロナウイルス感染症関連通知等リスト」「関連情報リンク」「相談・提案窓口」から構成される「新型コロナウイルス感染症コーナー」を開設	協会基本情報ホームページ掲載:2018.1 情報発信内容レビュー:毎年度	B
コンプライアンス活動の推進・支援	コンプライアンス強化・啓発を目指した研修、講演会の開催や関連情報の発信	1. 国、関連地方自治体、関連団体等と連携した業界のコンプライアンス活動の推進(終了時期:2020年度) 2. 会員企業ノウハウも活用した企業内でのコンプライアンス活動への支援(支援体制整備、情報収集・整理・提供、講演会・セミナーの実施)(終了時期:2020年度) 2017-2020 各委員会・研究会内でコンプライアンスに関連した活動を実施 2018.1.31 平成29年度医薬品総括製造販売責任者講座開催 2019.1.31 平成30年度医薬品等総括製造販売責任者講座開催 2019.7.17 製薬企業に求められる法令遵守体制に関する講演会 2019.8.22 「女性活躍推進・ハラスメント規制法」啓発セミナー 2020.1.27 「育児・介護休業法」啓発セミナー 2020.2.3 理事会で製薬企業に求められる法令遵守体制に関する講演会 2020.2.17 令和元年度医薬品等総括製造販売責任者講座開催 2019.8 「医薬品製造販売指針2018に関する講習会記録」の発刊 2019.9 「医薬品の製造販売承認書と製造実態に関する点検における留意事項」の発刊 2019 会員にとって重要かつ複雑と思われる通知等につき、会員が検索しやすいように過去の通知をまとめて掲載:BSE(狂牛病)関係通知等一覧、ヒト動物関係通知等一覧、コンプライアンス関係通知等(医薬品)▽偽造医薬品▽製造販売後安全管理▽承認書と製造実態の齟齬▽広告関連、コンプライアンス関係通知等(医薬品以外)、震災関係通知 2020.9.4 「ストレスケア」研修会開催 会員共通の課題であることから「会報」にも掲載 2021.2.18～2.24 令和2年度医薬品等総括製造販売責任者講座開催(Webによるオンデマンド録画配信) 2021.3.8 製薬企業に求められる法令遵守体制に関する講演会	総括講座、各委員会・研究会活動で最大限実施:2020.3 支援体制整備完了:2019.3 情報提供枠組み整備完了:2020.3 年次計画に基づく関連講演会、セミナー実施:各年度	B

社会貢献活動の充実	くすりや健康・医療に関連したプロジェクトへの支援	<p>1. 医学・薬学に係る学会等の資金寄附における日薬連業務への協力(終了時期:2020年度)</p> <p>2017 日薬連との共同事業として実施 2018 日薬連との共同事業として実施(継続) 2019 日薬連との共同事業として実施(継続) 2020 日薬連との共同事業として実施(継続) 日薬連担当者不在により、日薬連業務も代行(10月~12月) 2021.3.31 2021年度より日薬連事務局で一元的に実施することから日薬連業務への協力を終了</p>	製薬産業の基盤を担う科学技術の振興を通じた人々の健康・福祉の向上。生命関連製品を取り扱う産業としての高い倫理性と信頼性の下での実施	B
		<p>1. 「2025日本万国博覧会」誘致・開催への支援(※会員登録・署名活動等への協力)(終了時期:2018年度)</p> <p>2017.11.10 「2025日本万国博覧会誘致委員会へのご入会をお願い」を会員会社へ発出し、協力依頼 2017.11.22 「2025年万博誘致に係る署名活動の協力について(お願い)」を会員会社へ発出し、協力依頼 2018.11.24 「2025日本万国博覧会」が大阪で開催されることが決定。正式名称:「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」</p> <p>2. 「2025日本万国博覧会」決定後、開催支援(終了時期:2020年度)</p> <p>関連団体、自治体等からの要請に応じて対応検討予定</p>	開催地決定:2018.11 開催支援	B
		<p>1. 道修町まちづくり協議会への協力(終了時期:2020年度)</p> <p>協議会の役員・事務局として参画し、活動に協力</p> <p>2018.10 大阪市と協議会との道修町通の整備に関する基本確認書の締結 2019.3 道修町まちづくり協議会のバナーを関薬協ホームページに掲載 2019.11 道修町通再生プロジェクトについて大阪市との事業協定書(道修町通2丁目(東街区・中央街区)工事分)締結 2019.12 道修町通2丁目(東街区・中央街区)の道路整備工事着工 2020 道修町通2丁目(東街区・中央街区)の道路整備工事、地下機器設置工事実施(継続)</p>	道修町まちづくり整備案策定:2018.4 道修町まちづくり(無電柱化・道路整備など)完了:2020年度末	B
	災害時の医薬品等の安定供給への対応・支援	<p>1. 災害時の医薬品等の安定供給体制の整備・維持(※情報収集・整理・提供、ネットワーク構築、協定書整備等)(終了時期:2020年度)</p> <p>2018 関連自治体・団体等から情報収集を実施 2019 関連自治体・団体等から情報収集を実施 2020.2.1 ホームページで会員向けに震災関連通知を掲載 2020.4 日薬連・製薬協作成の「災害時医療用医薬品提供マニュアル」で「東京直下型地震等で製薬協の機能が停滞した時には、関薬協に支援・代行を依頼する。」旨、記載 これに合わせ関薬協災害対策本部の体制整備 2020.11.4 大阪府業務課と連携し、災害発生時等に必要となる大阪府公安委員会への緊急通行車両等事前届出に関連する資料を作成 2020.11.30 関西エアポートからの要請に基づき、新型コロナウイルスの空港でのワクチン受け入れとその後の国内各所への輸送に関わる輸送タスクフォース立ち上げ協力・支援に同意</p>	情報整理・提供:2020.3 関西地域でのネットワーク構築等:2021.3	B

5. 社会からの信頼についてのコメント	自己評価
<p>協会ホームページの内容の見直しを行い、協会活動につき、積極的に情報発信を行った。</p> <p>会員のコンプライアンス充実を目的とした講演会の開催や会員の関心の高いテーマに関する講演会・セミナーを積極的に開催した。</p> <p>日薬連との共同事業である資金寄附や道修町まちづくり協議会への協力を行った。</p> <p>災害時の医薬品等の安定供給を目指し、製薬協・日薬連作成の「災害時医療用医薬品提供マニュアル」で「東京直下型地震等で製薬協の機能が停滞した時には、関薬協に支援・代行を依頼する。」旨、記載。これに合わせ関薬協災害対策本部の体制を整備した。</p> <p>会員のコンプライアンスの充実や情報発信力が期待以上のレベルに至っていないと考え、評価「B」とした。</p>	B

6. 全体

全体を通してのコメント	自己評価
<p>当協会では、従来、毎年、単年度の事業推進計画を策定し、年度計画に沿って活動してきたが、中長期的な観点で検討したビジョンや事業計画は策定していなかった。2017年9月に、協会として初めて2025年のありたい姿を示したビジョンを策定。ありたい姿の実現を目指し、ビジョンに基づき策定した中期事業計画(前期)を単年度計画に落とし込み活動を開始した。また、中期事業計画の確実な実施のため、ビジョン実現タスクフォースを設置。これにより、協会の共通したビジョンのもと、「2025年の未来像」の5つの柱となるありたい姿の実現に向け、ビジョン実現タスクフォースが、事務局・委員会・研究会・研究開発推進会議と連携し、協会活動を行うことができた。また、名称も関西医薬品協会に変更することで、大阪・関西を基盤とした地域団体として新たな一歩を踏み出すことができた。さらに、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、協会活動に支障を来さないように、規約改正を実施すると共に、Webによる会議・講演会の開催など、迅速に対応した。</p> <p>「1. 提案力」では、会員の意見を当局へ提言し、薬機法改正等に反映させることができた。</p> <p>「2. イノベーション」では、関西地域のイノベーション推進に関する情報共有・連携・協力を進めることが出来た。</p> <p>「3. グローバル化」では、海外との新たなネットワークを構築し、様々な講演会の開催等を通じ、会員への情報発信を積極的に行った。</p> <p>「4. 魅力ある協会」では、第4期PRAISE-NETの構築、講演会・研修会等によるサービスの充実、会員数の増加など協会活動の基盤強化を進めた。</p> <p>「5. 社会からの信頼」では、会員のコンプライアンスの充実に努めた。</p> <p>これらについては評価に値すると考える。一方、中期事業計画(前期)に基づく年度計画の立案・実行は、実質的に2018年度からであり、開始年度が遅かったこともあって、活動実績については期待している以上のレベルとはいいがたいため、全体の評価としては、評価「B」とした。</p>	B

7. 総合評価

	自己評価	理事会	
		評価	コメント
0. 共通(全体)	A	A	
1. 提案力	A	A	
2. イノベーション	B	B	
3. グローバル化	A	A	
4. 魅力ある協会	B	B	
5. 社会からの信頼	B	B	
6. 全体	B	B	<p>全体としておおむね中期事業計画(前期)における所期の目標を達成していると考えられる。</p> <p>協会として初めてとなるビジョンを策定し、また、これに合わせ名称も関西医薬品協会に変更することで、大阪・関西を基盤とした地域団体として、今後の向かうべき方向性を内外に示すことができた。</p> <p>また、ビジョン実現タスクフォースのもと、事務局、各委員会・研究会、研究開発推進会議が連携し、ビジョンに基づく中期事業計画(前期)の確実な実施を目指した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症という不測の事態に対し、協会活動に支障を来さないように、規約改正、Webによる会議・講演会の開催など、迅速に対応できた。</p> <p>一方、会員会社の継続的なコンプライアンス活動の推進・支援や関西の強みを活かした健康医療分野での戦略的な取り組み等については、更なる強化、充実が必要である。</p>

<評価基準>

A:期待している以上のレベル、B:到達目標に達したレベル、C:到達目標に対しやや努力を必要とするレベル、D:到達レベルまで相当な努力が必要なレベル